

各位

学校法人練馬みどり学園田柄幼稚園

園長 古閑 博美

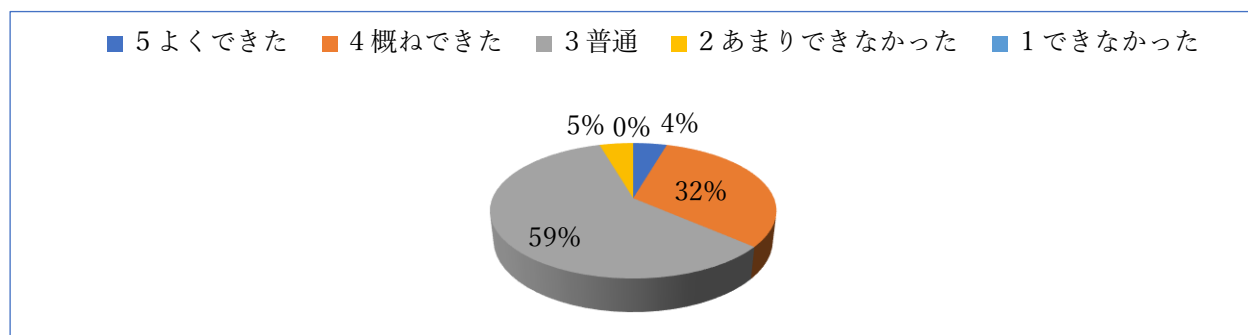
平成 30 年（2018 年）度 自己評価まとめ

みなさんに提出いただきました「自己評価」を集計いたしました。ご多用のなか、ご協力くださいまして、ありがとうございました。次年度に向けての課題が見えてくるかと存じます。以下、ご確認ください（一部省略。原文ママ）。

〔1. 園長の年間方針について〕

1. 本園利用者の期待に応える教育活動の一環として「全身教育」を提唱し、その定着を図る。

※全身教育とは、「全身にさまざまな刺激を与えることで心身の善的発達に寄与する教育」のこと（古閑博美）。（回答 22/22）



（2 をつけた理由）

- ①教室に入り、園児たちに関わる時間をうまくつくれませんでした。次年度は、時間の使い方をよく考え、園児に関わる時間をつくれるようにしていきたいです

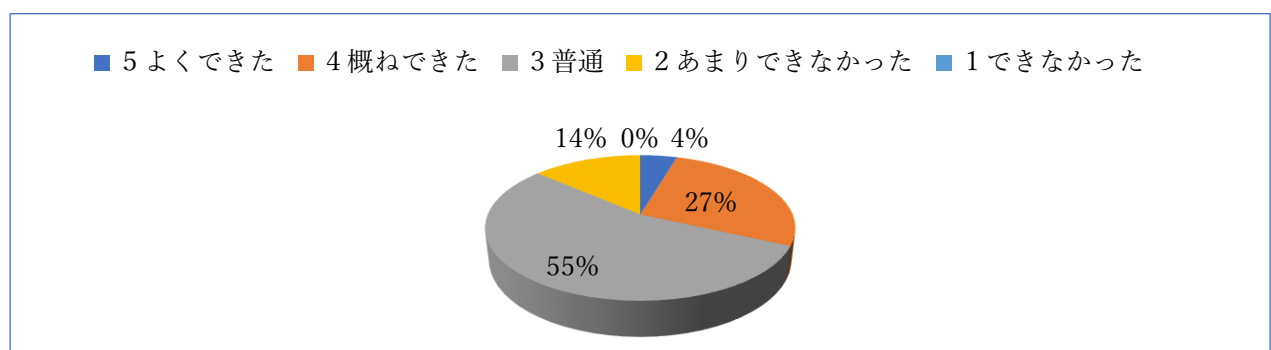
（3 をつけた理由）

- ① 全身教育の定義が広すぎて、あてはまっているのか不明であるが、私自身は、園児たちに様々な経験ができるよう色々な活動を取り入れた。

（4 をつけた理由）

- ①職員室の窓越しの園児の姿から伸び伸びした様子から

2. 教職員の意識改革の一環として、教職員のキャリアアップとスキルアップを図る。（回答 22/22）

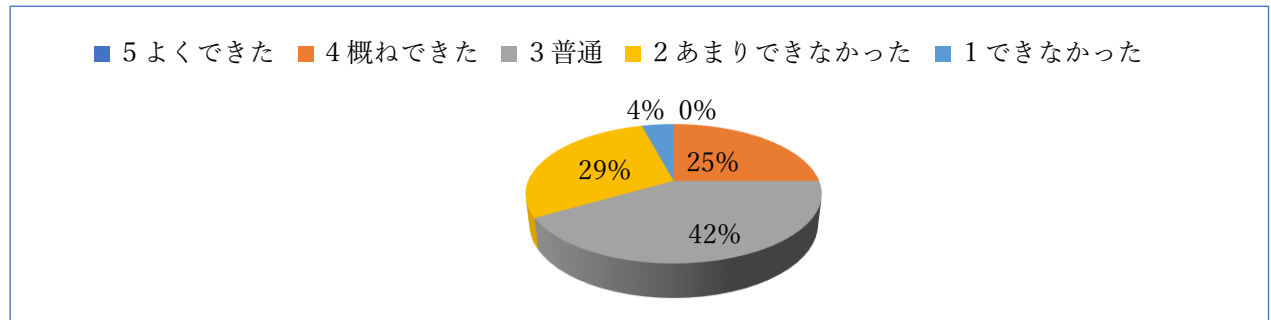


2018 年度自己評価まとめ（回収）

（2をつけた理由）

- ①外部の研修会に積極的に参加しなかった。
- ②意識改革・キャリアアップ・スキルアップという言葉は良く聞かれた。意識の中には芽生え、したい思いはあっても、実際にはそこまでは出来なかった。
- ③スキルアップとして園外での研修に参加できればよかった。

3. 園内業務の見直しの一環としてコスト意識の向上と仕事の効率化を図る。（回答 22/22）



（1をつけた理由）

- ①正直に言って、逆に仕事は増え、効率よくは進められてはいないのが現状だ。

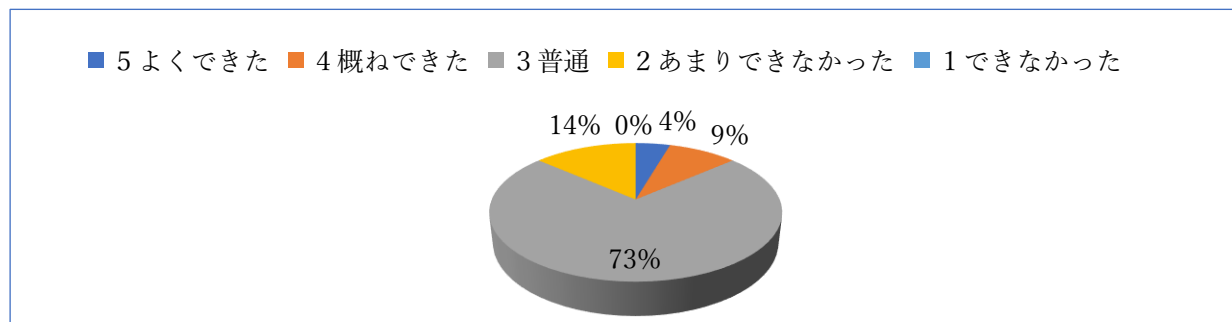
（2をつけた理由）

- ①行事毎の予算や教材購入のための目安となる予算案がないため、コスト意識の点では課題が残る。仕事の効率化においては園内メールや Alrit の活用で向上しているといえる。
- ②ペーパーレスは意識しましたが、効率化の面では、仕事量が増えて仕事の効率が悪くなりました。水曜日を No 残業 day と全体で決めることはいかがでしょうか(以前はそうでした)。
- ③さまざまな作業でパソコンを使用する頻度が多くあったが、使用したい時間が被ってしまうと台数が足りず、効率的に業務を進めることが難しい場面があった。
- ④紙面の書類が多く、ペーパーレスに繋がっていないと思った。
- ⑤業務は増えても、なかなか効率よく変える（減らす）ことは難しい。主任、学年主任だけでなく他の教師の意見も取り入れていったらよいと思う。
- ⑦以前も伝えたことはあるが、棚に沢山の文具は必要ないと思う。毎学期、取り換え用の支給はしてほしいがいつでも簡単に取り出せるのはコスト削減につながらないと思う。
- ⑧PC が使いたいときに使えないこともあり効率的に仕事ができない。
- ⑨園内業務の見直しの仕方がよくわからなかったということが正直な感想です。また、PC 業務が増えたことで仕事量が増え、クラスや学年の仕事が後回しになってしまうこともあったので、今後の業務については見直しがまだ必要があると思う。
- ⑩今までと比べ、意識はできました。しかし、なにかに取り組むときに従来どおりに進めてしまふところがありました。いつでも見直したり、新しいことを考えようとする意識が必要だと感じました。

4. 園内業務の一環として、組織人としての意識向上ならびに事務業務の質の向上を図る。

（回答 22/22）

2018 年度自己評価まとめ（回収）



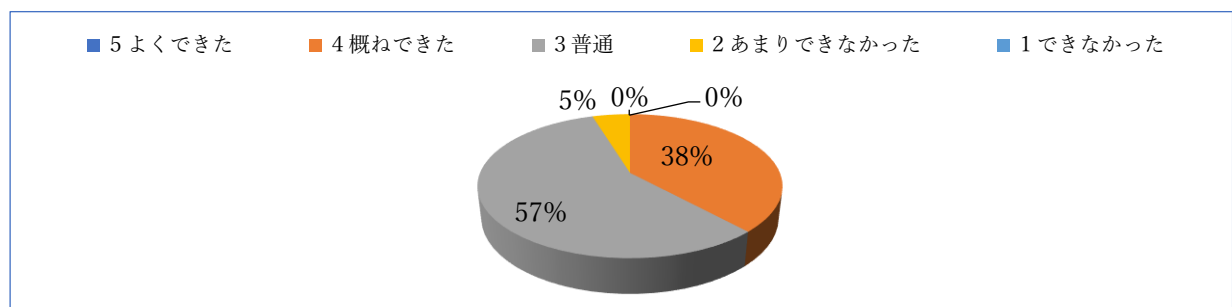
（2 をつけた理由）

- ①PC での業務に追われ普段の保育に関する業務に手がまわらなくなった。
- ②自分のやるべきことは行っていたが、質の向上まではできていたかわからない。
- ③自分からなかなか気がつくことができませんでした。次年度は、もっと周りに目を配る意識したいと思います。

〔2〕教育活動について

1. 教育目標について（回答 22/21）

（1）ただしい子（知性の育成）



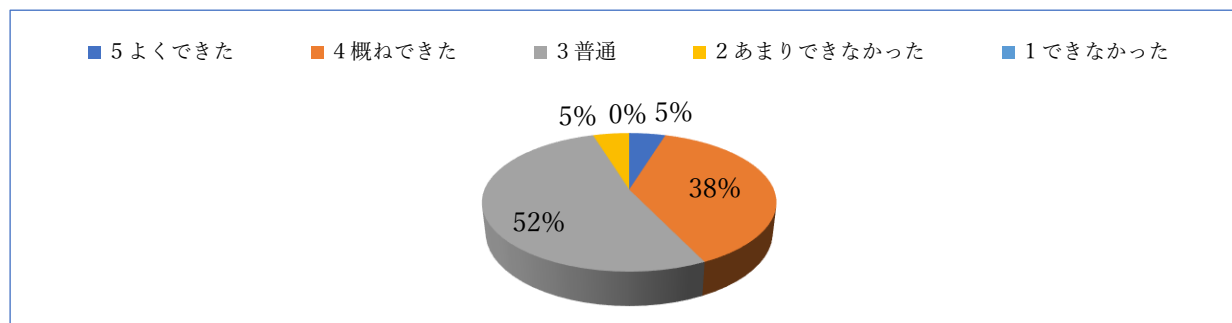
（2 をつけた理由）

- ①園児たち自身が考えて、自分から挨拶をしたり、なにかに対して調べたりする姿が少なかったからです。

（その他理由）

- ①知的好奇心を育てるための手立てについて研究する

（2）うつくしい子（情操の陶冶）



（2 をつけた理由）

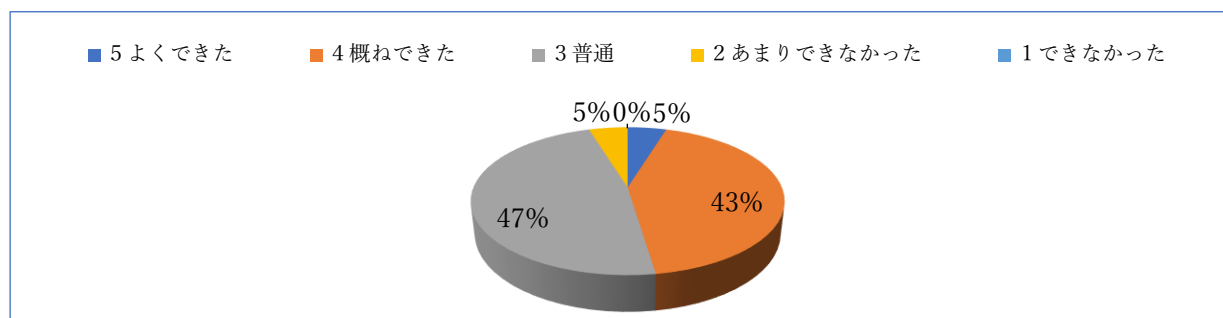
- ①具体的にはよく分からないと言うか、目に見えず評価が難しい。

（その他意見）

2018 年度自己評価まとめ（回収）

①自然に触れ、驚きや発見をする喜び、センスオブワンダーを育てる

(3) つよい子（意志の形成）



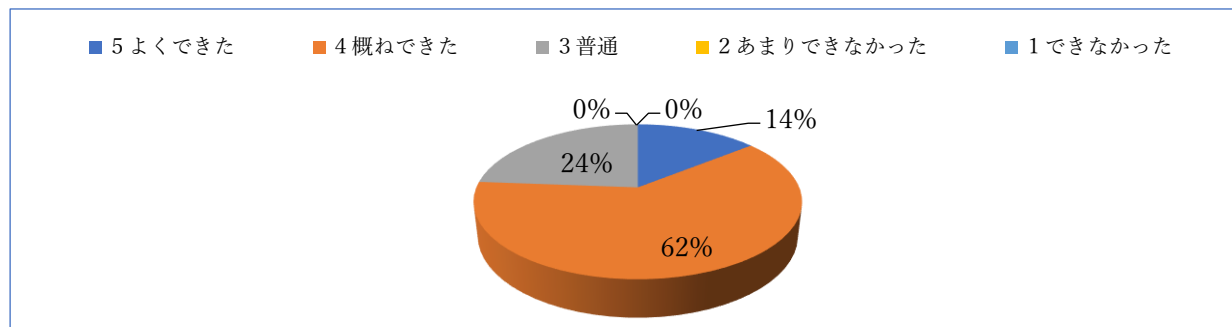
(2をつけた理由)

①自分の思いを言葉で表現することができない園児もいるため、まだ教師の援助が必要な園児もいる。

(その他意見)

①自らの思いが発現、表現できるように援助指導

(4) あかるい子（心身の健康）

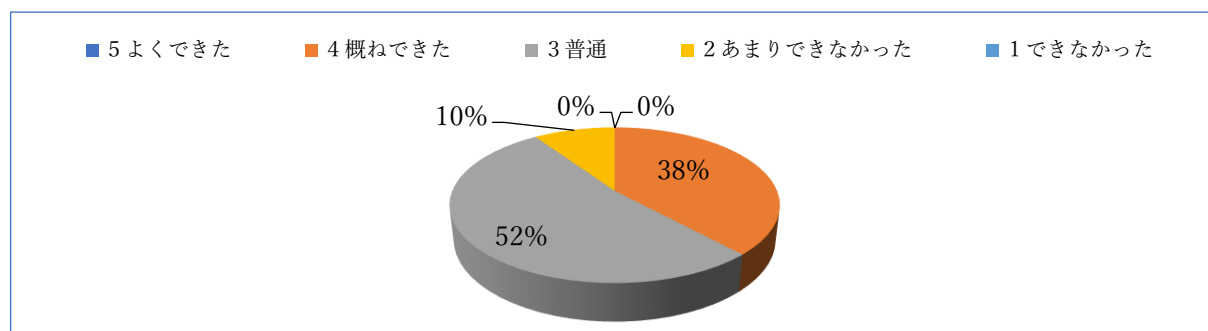


(その他意見)

①明日が待たれるような連続性のある教育

2. はぐくみたい資質・能力（回答 22/21）

(1) 知識おとび技能の基礎



(2をつけた理由)

①今年度は、さまざまな機会をいただき、5歳児学年を対象とした学習が多くあり、5歳児学年なりに知識を得ることができと思います。このような機会を次年度も無理のない計画を立て、行ってみたいです。

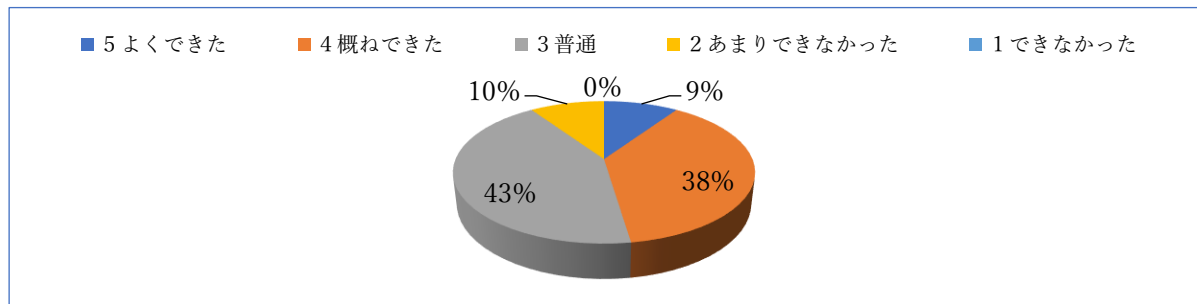
②制作の時間は、はさみやのりが苦手な園児を細かく指導してあげることができないこともあった。

(その他の意見)

①好奇心の芽生えを大事にし、それを伸ばす

2018 年度自己評価まとめ（回収）

（２）思考力、判断力、表現力等の基礎



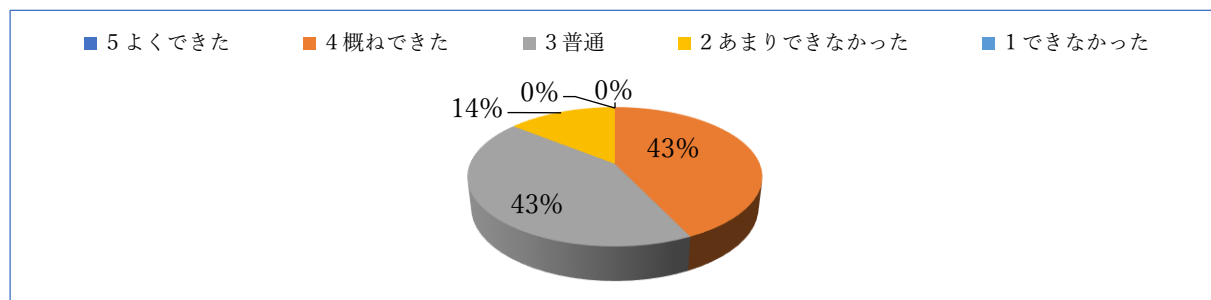
（２をつけた理由）

- ①年少なりに行事や遊びを通して表現したり表現を喜んだりすることが出来たが、思考力・判断力（見通しや振り返り、予測や予想）はまだ年少では難しいと感じた。現在はそのときに気づき試行錯誤している状態である。
- ②幼児が自分で考えて行動出来るだけの基礎は出来ていないと思われる。

（その他の意見）

- ①個人やグループで考えたこと実行できるよう援助

（３）学びに向かう力、人間性等



（２をつけた理由）

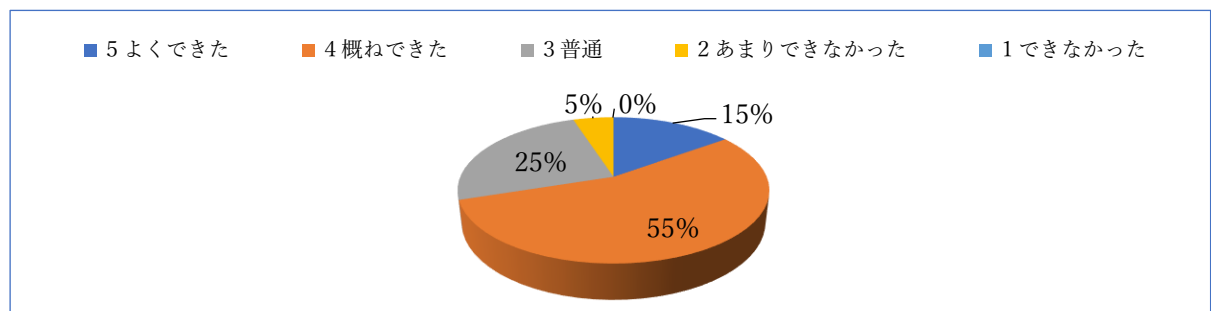
- ①園児たちが自発的に活動する意欲はあった。しかし、その意欲が自分の苦手な活動で「やってみたい。」と感じてもらえるような活動を取り入れていけたらよかった。
- ②学びに向かう力はまだ身についていないと思われる。

（その他の意見）

- ①一人一人の発達段階を踏まえ、その時々に必要な援助

3. 幼児期の終わりまでにそだってほしい姿（回答 22/20）

（１）健康な心と体

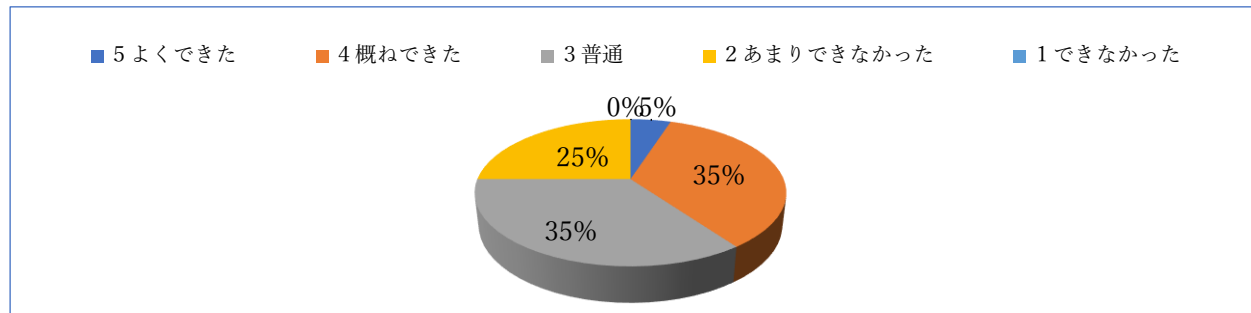


（その他の理由）

- ①保護者と連携し、1人1人の成長を見守る
- ②人格形成の基礎

2018 年度自己評価まとめ（回収）

（２）自立心



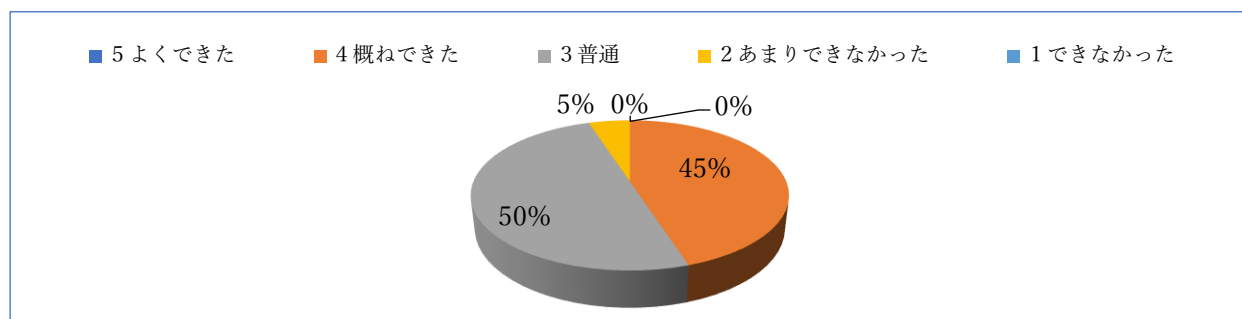
（２をつけた理由）

- ①興味のあることへすぐ気持ち移ってしまうので、諦めずにやり遂げる気持ちをこれから養っていきたい。
- ②保護者の干渉が過度なケースが見られる。
- ③うまくいかないことがあると自分の思いが通らないと泣いてしまったり、自分の気持ちを出せなくなってしまう園児が多かった。自信をもって行動できるように自分を出せる場を、一人一人がもてるような環境づくりが必要であった。
- ④自立心については、園児によって個人差がある年ごろなので、できたとは言えない。また、まだ自分一人ですべてを決めてやるということに自信がない園児がいる。

（その他の理由）

- ①失敗を恐れずにやってみようという気持ちを育てる
- ②社会で誇りを持って自活する心構え・・・三立（立腰立額立身）

（３）協同性



（２をつけた理由）

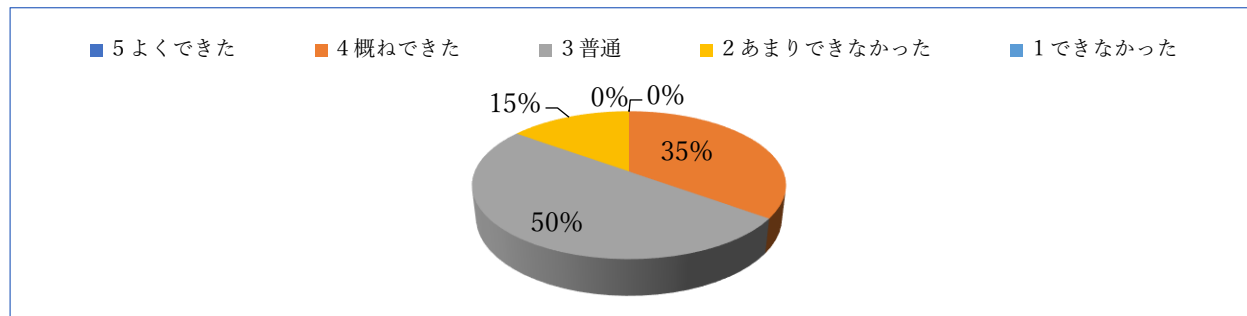
- ①自分の気持ちが第一になってしまい、相手の気持ちを考えて発言することがまだまだできていない。

（その他の理由）

- ①力を合わせて達成する感覚を経験させる
- ②ひとはひとりでは生きていない

（４）道徳性・規範意識の芽生え

2018 年度自己評価まとめ（回収）



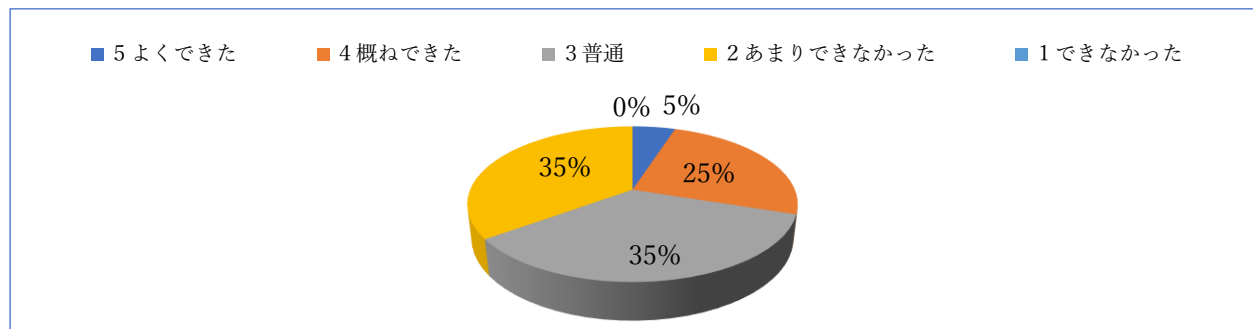
（2をつけた理由）

- ①友だちの気持ちに共感したり、してよいことや悪いこと、相手を傷つけてしまうことはなかなか判断できないことがあるので現在も学年で話し合うことがあり、課題だと感じています。
- ②現在、年少で葛藤やつまずきを経験している最中だと思われ、衝突が見られる。年中・長と成長していく中で、相手に対する思いやりの気持ちが育つであろうと考える。
- ③自分の気持ちが気になってしまい、相手の気持ちを考えて発言することがまだまだできていない。

（その他の理由）

- ①人が嫌がることはしない。感謝の気持ちなどを折に触れ言葉にする習慣、必要性を学ぶ
- ②善悪の判断能力、社会性の陶冶が必須

（5）社会生活とのかかわり



（2をつけた理由）

- ①敬老会に出演したり、餅つきで近隣の方に餅つきの仕方を教えていただいたりして、ふれあうことはありましたが、商店街に行ってもみたり、畑に行ってみたり、もっと社会と関わることがあったのではないかと思います。
- ②年少ということもあり、社会(園外)よりもまずはクラスや学年(園内)の関わりを多く取れるようにしていたと感じたため。
- ③地域の人との関わりが少なかったなので、行事などでいろんな人と触れ合える場をもっとつくってきたい。
- ④園外で地域の方と触れ合う機会はあまりなかったように思う。
- ⑤愛宕神社や遠足以外に園外に出ることがなかったので、あまり地域の方と触れ合う機会が少なかった。もちつき会やじゃがいも掘りの時にもう少し地域の方とかかわる機会があると良かった。
- ⑥外部との関わりが少なく、社会とのつながりまで意識できていないと思う。

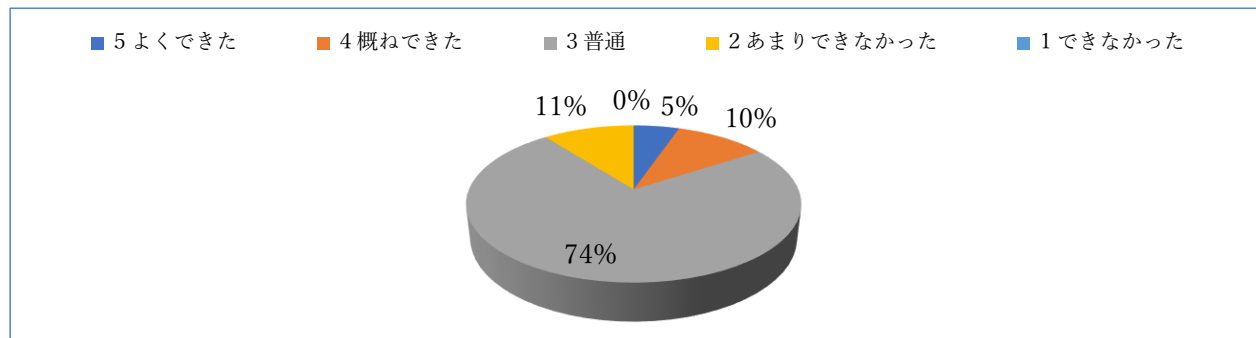
（その他の理由）

- ①オープンマインドな気持ちを育て、自分の目で周囲を見回す

2018 年度自己評価まとめ（回収）

②家庭・学校〈幼稚園〉・地域

（６）思考力の芽生え



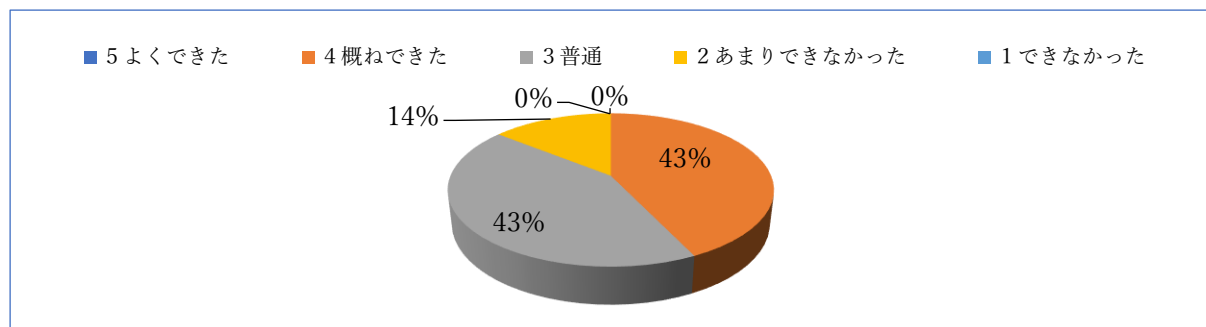
（２をつけた理由）

- ①自分で考えて行動する思考力は身につけていないと思われる。

（その他の理由）

- ①行き過ぎた指導や援助をさけ、自力でとりあえずやらせてみる
②刺激を与える

（７）自然とのかかわり・生命尊重



（２をつけた理由）

- ①前半はミニトマトの栽培、愛宕神社にいたり園内にいるザリガニ、カブトムシ、ダンゴムシと関わったりする機会を沢山もうけたが、後半は触れる機会が作れなかった。

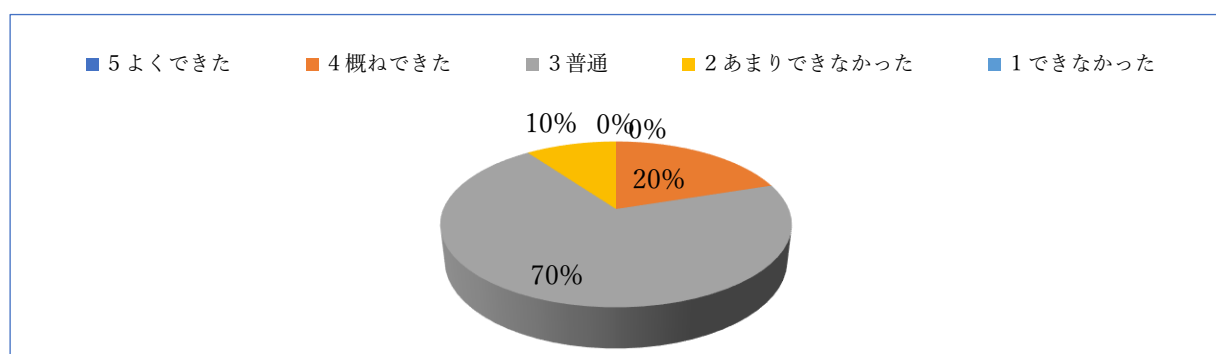
（４をつけた理由）

- ①幼稚園で孵った蝶の卵を成虫になるまで育てたことは良かった。

（その他の理由）

- ①自分を大切にすることで、周囲に対する関心や愛着を育てる
②身近な自然とかかわることで情操教育

（８）数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚



（２をつけた理由）

- ①3 歳児なのでとくにそういった時間はもうけてない。普段の生活の中の時間の伝え方で「長

2018 年度自己評価まとめ（回収）

い針が7になったら」という伝え方や、月間絵本を一緒に読んだりしている程度だった

- ②年少なので、時計の数字や「何個だろう？」と数を数えるなどして、数字を意識できるようにしてきたが、文字や標識にはあまり触れてこなかった。

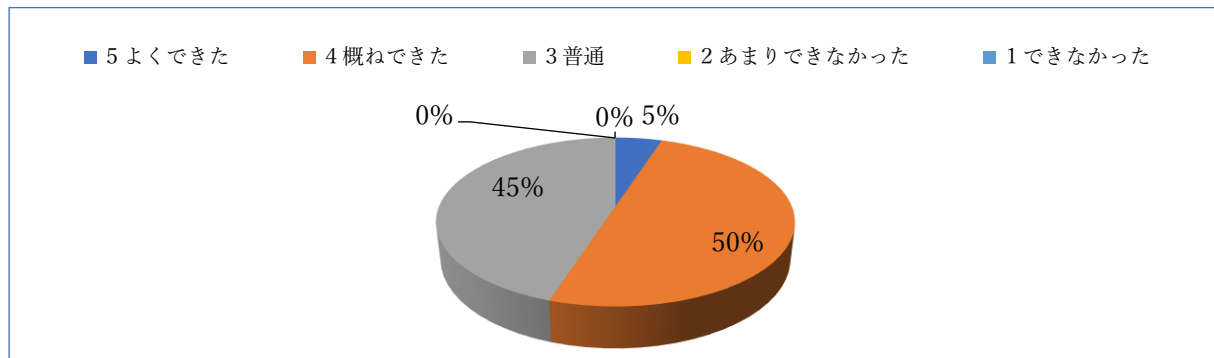
（3をつけた理由）

- ①時間を伝えるとき、数字に意識が持てるように1年間行ってきた。

（その他の理由）

- ①カプラなどの遊具を使い遊びながら学ぶ
②知的刺激

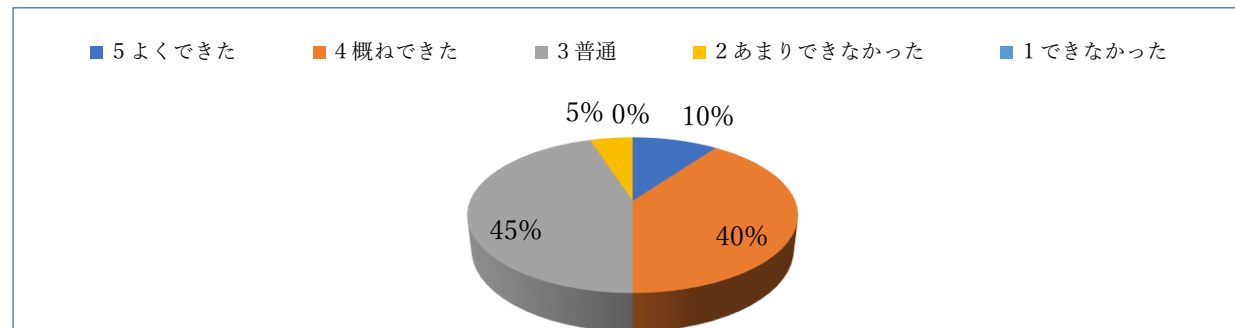
（9）言葉による伝え合い



（その他の理由）

- ①思いを表現できるように、絵本などを使って話し合いの重要性を伝える
②毎日使う言葉遣いへの配慮、語彙力を増やす

（10）豊かな感性と表現



（2をつけた理由）

- ①まだ自分のイメージした物を作るのは難しい様子である。教師が援助し、形になっていくと喜んでいる。

（その他の理由）

- ①芸術（音楽やアート、文学等）に触れあい、感じたものを自分の体を使って表現できる喜びを学ぶ
②美育、心力を高める刺激

〔3〕教職員としての取り組み（自由。複数回答可）

（1）年度初めに教育目標を立てて取り組んだ方は、それについて述べてください。

（回答 22/20 複数回答あり）

- 1）園児の状況に応じて、無理がなく園児一人一人の生活の仕方やリズムに十分配慮した教育を行う。
2）連続的な縦割り教育

- 3) 保護者との丁寧な連携
- 4) わくわく教室において、保護者・園児に田柄幼稚園の良さを感じてもらえるよう、ていねいな保育、一人一人への関心の配慮を心がける事
- 5) 自分で考えたり友だちに協力したりしてなんでもしてみようとする。
- 6) 自分で考え、自分の思いを伝え、行動に移すができるようになる。
- 7) 諦めずに最後まで取り組む子・自分で考えて発言できる子
- 8) 保護者の方にお子さんの成長してほしい、伸ばしていきたいところを聞き、1年間でその園児が成長できるように関わってきた。また、友達と一緒に過ごす楽しさを味わうことを目標にした。
- 9) よいこと悪いことを考えて生活できるようにする。
- 10) 色々なことに自分から挑戦できる園児にする。
- 11) 学年目標：自分の体を十分に動かして、いろいろな動きのある遊びを楽しみ、心地良さを味わう。
- 12) 進んで挨拶をする。
幼稚園で初めての集団生活において、絶対的に必要なものと考えた。また、自然と目と目を合わせたコミュニケーションの1つであるので、友だち、職員、保護者にも進んで挨拶できる園児になってほしい。
- 13) 自分の体を十分に動かしていろいろな動きのある遊びを楽しむ
- 14) 自分の体を十分に動かして、いろいろな動きのある遊びを楽しみ、心地よさを感じる。を学年目標として掲げた。
- 15) 年少組は、保護者から離れ初めての集団生活となるため、基本的生活習慣を園児が自ら行えるようになるとともに、教師や友だちとの関りを楽しみ安定した生活を送れるよう心掛けた。
また、学年目標にあるいろいろな動きのある遊びも取り入れた。春の遠足での踊りや新聞遊び、クラスでのリズム遊びや楽器遊び、運動会でのお遊戯やかけっこ等
- 16) 体調管理をしっかりと休まず明るく元気に指導することを目標にしました。
- 17) 個人としては、「園児が幼稚園で安心して過ごせるようになる」。また、学年では、「自分の体を十分に動かしていろいろな動きのある遊びを楽しむ」。
- 18) 園児が安心して生活できるよう、1人ひとりの思いを受け止め、自立に向けて援助しようと考えた。
- 19) 信頼関係→安心感
- 20) 行事のスリム化、事務作業の能率化、研修の強化を行う。
- 21) 「論語の時間」「英語の時間」の導入
- 22) 今までの担任の職務とは異なるところがあるので、まずはやってみようとして挑戦すること。
- 23) 取り扱いしやすい、書類の保管の見直し。
- 24) 諦めずに最後まで取り組む子・自分で考えて発言出来る子
- 25) 保護者の方にお子さんが成長してほしい、伸ばしていきたいところを聞き、1年間でその園児が成長できるように関わってきた。また、友達と一緒に過ごす楽しさを味わうことを目標にした。
- 27) よいこと悪いこと考えて生活できるようにする。

2018 年度自己評価まとめ（回収）

28) 色々なことに自分から挑戦できる園児にする。

29) 感性豊かに思いやりの心を育てる。

30) あいさつ

31) 進んで身体を動かす。

手洗いうがいなどの基本的生活習慣や園庭遊び、ダンス、運動など身体（全身）を進んで行う園児になってほしい。

32) 園長先生や主任と先生方の考えを橋渡しできるようにすることです。

（2）目標は達成できましたか。できた・できなかった理由を述べてください。

（回答 22/20 複数回答可。）

- 1) 概ね出来た・給食で苦手な物があっても、園児同士一緒に食べようと声をかけたり、応援したり、食べられた事をクラスの友だちが喜び合ったりする姿が見られる為。
- 2) 達成できた。登園渋りや話すことができなかった園児も年中になって、自分の思いを友だちに話したり、自分から好きな遊びや友だちを見つけて園生活を楽しむことができるようになった。
- 3) 年度当初に比べると集団生活におけるマナーやルールなど園児たちなりに考えて行動できるようになってきたが、まだ指導が必要な面も多い。
- 4) 失敗することを恐れて、なかなか取り組めない園児も数人いるが、ほとんどの園児は「やってみよう」と言って色々なことに挑戦できるようになった。
- 5) 概ねできた：行事を通して共通の目的に向かって友だちと相談する姿や話し合う様子がみられるようになったから。
- 6) 達成する事ができた。理由としては、自分で考える時間を十分に設ける。他人の意見を聞く時間を作る。出た意見を否定せず教師が受け入れる。事を行った。
- 7) ①、②は達成できました。しかし、③のあいさつは全体に今指導している最中です。1・2学期はまだ別の部分で指導することが多く、3学期に行っています。
- 8) 長期の休み明けになると、泣いて登園する園児も数名いたものの、毎日喜んで登園し園生活を楽しんでいた。また、自分のことは自分でしようとするようになった。
- 9) 個人の目標については、保護者から、園児が幼稚園を楽しみにしている話が聞けることから、達成できたと考える。学年の目標については、リズム遊びや鬼ごっこ、なりきり遊びなどを喜ぶ姿が見られることから、達成できたと考える。
- 10) 春に体調不良でお休みしてご迷惑をおかけしてしまいましたが、今年度は風邪をひくこともほとんどなく毎日笑顔で過ごすことができました。体力向上のために始めたウォーキングの成果かなと思います。
- 11) 毎日の積み重ねで、園児が自分で出来ることが増えていき、日常の些細なことからも成長の様子がうかがえた。同じ場で自分の好きな遊びを行い、少しずつ周りが見えるようになると友だちの名前を覚え一緒に同じ遊びを楽しむ姿も見られた。また、いろいろな遊びをクラスや学年で行い、楽しみながら体を動かすことが出来た。今年度行った遊びや活動の内容だけでなく、他にも取り入れていけるようにしたい。
- 12) できた。園児たちは全身を動かして遊ぶことを楽しんでいる姿が見られる。
- 13) できた 普段の遊びや行事を通して遊びながら取り組むことができた
- 14) 遠足や運動会や子ども会などの行事を通して、年少担任で話し合いを重ね、遊びながら進

2018 年度自己評価まとめ（回収）

んで身体を動かせるようにしてきた。体を動かすことを嫌がる園児は見られなかった。

15) 概ね達成できたが、引き続き努力を続けたい。

16) 導入できた

17) 失敗が多くありましたがさまざまなことに挑戦する機会を与えていただき、自然と挑戦することができました。

18) 過去のデータを調べるのに、時間と手間をはぶくことができた。

19) わくわく教室では年度後半にアンケートを取り、保護者の意見を聞いた。田柄幼稚園の教育に賛同してくれる方が多くいたが、一部の方には満足いかない部分もあった。

田柄幼稚園の教育を伝える機会が少なかったためかと思う。

20) 園児の状況に応じ無理なく配慮できたと思いますが、個人のリズムに十分配慮したところまでは到達してないです。

21) 入園当初は恥ずかしがったり、必要性が分からなかったりして出来ないこともあったが、教師が進んで行っていったり、出来る園児に挨拶を返していったりすると気持ちよさに気付き、教室に入ると自ら挨拶をし、歌を通して自然とできるようになった。しかし、クラスの担任や友だちにはできるが、他の職員にはまだ不十分である。

22) もともと体を動かすことが好きな園児が多いクラスのため、進んで園庭遊びやダンスをしたがり、運動は進んで行うことが出来た。基本的な生活習慣は声を掛けなければ進まないこともあり、十分とは言えない。

23) 入園時から日常的に縦割り教育を取り入れました。

24) 時間帯や担当者により保護者に対し言葉が足りないこともありました。

25) なかなかうまくいかないことがありました。担任の先生方がもっと相談しやすい姿勢、まずはどんなことに困っているのかなど思いを聞くという姿勢を身につけなければならないと感じました。また、それを園長先生や主任にしっかり伝えられるように伝え方も身につけなければならないと感じています。

(3) 職務においてもっとも力を入れたのは何ですか。(回答 22/22 複数回答可。)

1) わくわく教室の立ち上げ、活動など。

2) 園児の安全

3) 楽しく仕事をする、効率よくする方法を考える。

4) コミュニケーション、情報の共有

5) 担任として園児一人ひとりが目的を持って園生活を送れるように様々な環境作りを行い、成功体験を増やし達成感を味わい就学に備えること

6) 学年間の共有

7) 園児の個性、一人ひとりの発達を考えながら、園児たちの意見を尊重して保育を行った。

8) 園児たちが様々な経験をしてたくさんのことを学べるよう、教育活動を考えるようにした。

9) 園児が第一優先となるように、園児のために1つでも多くのことを教えられるように力を入れた。

10) 子ども会委員です。

11) 園児が安全に、安心して園生活を送れるように見守る。

12) 園児の安全面への配慮。(アレルギーを含む)

13) 子ども達が安心して幼稚園に来られるようなあたたかい雰囲気のクラス作り。また、生き

2018 年度自己評価まとめ（回収）

生きと園生活が送れるような環境作り。

- 14) 報告、連絡、相談をきちんと行う。
- 15) 園児たちが幼稚園を楽しいと思える環境作り。
- 16) 学年の話し合いを大切にしたい
- 17) 学年や係の中で自分が何が出来るかを常に考え、自分から行動や発言が出来るように意識した。
- 18) 教職員のスキルアップやキャリア形成につながる取り組みや取り巻く状況の改善（給与面含む）
- 19) 教職員のキャリアとスキルアップ、コストダウン、研究する姿勢、業務の効率化 など
- 20) なにかあったさいは、どのようなことでも動けるようにすることです。
- 21) 外部研修への参加
- 22) メールの活用
- 23) 金銭の管理。
- 24) 事務の面では、効率よく仕事をすることに力を入れた。

(4) 職務上、園内で共有したいことがらは何ですか。

(回答 22/20 複数回答可。)

- 1) 園児の懸念事項や研修で得たことの理解等について
- 2) 本園の教育理念とその具現化。カリキュラムに落とし込む など
- 3) 情報の共有です。伝えたつもりにならないようにすること、また、疑問に思ったことや不明な情報についてその場で誰でも質問できる環境であるといいと思います。
- 4) 教育カリキュラム
- 5) 保護者対応マニュアル（苦情・要望等）
- 6) 各担当、係の役割の認識。
- 7) 給食の食べる時間、あいさつ、手洗いなど基本的な生活習慣の指導方法。
- 8) 保護者対応。
- 9) 3 学年を見通した、発達に合わせた教育カリキュラム。
- 10) 発達が気になる子への対応。
- 11) 何か行う際のやり方や進め方について。
- 12) 学級経営補助の仕事内容が全体で共通理解できていないと思った。
- 13) 保護者に伝える前にまずは園全体で把握したい
- 13) 職務上での様々な事項について、決定後の報告が多いので決定する過程で職員に相談をしてほしい。
- 14) ホウレンソウを密に…とは言われるが、現場から報告をしても、その後の決定した事の通達が無く、いきなり保護者向けのアプリや手紙などで知るケースがあった。現場の意見も聞き入れて欲しい。現場にも相談して欲しい。
- 15) 学年でどんな保育をしているのか、また、学年の制作や給食面などの指導内容を進級した学年の職員が共通理解していると、重複して同じことを教えたりする間違いをせず、指導しやすい。
- 16) 学級経営補助の先生の居場所。頼みたいことがあった時に、すぐに頼むことが出来なかった。

2018 年度自己評価まとめ（回収）

- 17) 直近で言えばアプリで流れていることが事前に職員に共有できてないことが多いです。保護者の方から聞いてから知ることが多いので共有して頂きたい。
 - 18) 次年度に向けて新しくなることがら、変わったことがらについて
 - 19) アレルギーのある園児への対応
 - 20) わくわく教室を修了した園児が幼稚園に入園し、わくわく教室における活動内容が実際にどのような成果があるか、今後必要かを協議できる場
 - 21) 未就園児教育、預かり保育の重要性
 - 22) わくわく教室での活動、研究など。
- (5) 職務上、研究や研修の成果が上がったことがらは何ですか。（回答 22/21）
- 1) わくわく教室での活動、研究など。
 - 2) 園児に対する環境や言葉の働きかけ方
 - 3) 研修で取り組んだカルタ制作を保育の中で実践することができたこと。
 - 4) カプラの指導
 - 5) 研究教育は、今の進め方なら必要ないと思う。午前保育にしてまで行う意味があるのか、又、行事の前後で園児とその他の過ごし方をしたいと思う事もあった。それだけの代償を払ってまで、研究教育に成果があったとは思えない。
 - 7) カプラ研修ではすぐに実践できる内容で普段の教育活動に取り入れることができとても参考になった。
 - 8) アレルギーについての研修に行ったことで、アレルギーの配慮の必要な園児の対応について知ることができた。
 - 9) 練私幼班別研修の「タオル遊び」と研究での「カプラ指導」です。
 - 10) 研究、研修の成果ではなくまた、当たり前のことかもしれませんが、ほとんどできなかったパソコンが自分で資料を作れるまでになった。
 - 11) 環境構成の仕方、教師の援助の仕方、立ち居振る舞いについて、意識が高まったこと。
 - 12) 研修で発達障害や保護者対応を学び、今後そのような子どもと接することがあった時には学んだことが生かせるのではと思っています。
 - 13) カプラ研修。園児が使う物の扱い方や楽しみ方を教師が実際に体験しながら知ること、園児にもより魅力を伝えやすいと感じた。
 - 14) アレルギー研修に行き、アレルギーへの知識を増やすことができた。
 - 15) まずそういった時間があることで保育について話し合うよい機会になっている。園内研究は、行事と重なる時期は外した方がよいと思われる。
 - 16) アレルギーがある園児がクラス内にいるため、エピペンやアレルギーについての研修は今後も役立つと感じた。また、カプラなどのすぐ教育に取り入れられることが出来るものは園児にもすぐ伝えることが出来て良かった。
 - 17) 事務人員が減ったことによる、事務作業の見直しや効率化
 - 18) 園長の職務への理解と覚悟
 - 19) 他の園での研修会の実施の仕方を学び、少しずつ園内研修に変化が見られてきたことです。
 - 20) 自然に特化したブログ「たがらガーデン（平石加代子ブログ）開設により保護者や園児へ興味や関心を持たせることができた。
 - 21) アレルギー疾患についての研修に参加することでアレルギー疾患に対する重要性を再認

2018 年度自己評価まとめ（回収）

識し、全家庭に周知徹底を図ることができた。（書類作成、調査手順、対応方法等）

22) 研究や研修にあまり参加できず、成果が上がったことが思いつかないのですが、朝会時の「ワンポイント英会話」で英単語を覚え、サリタ先生とコミュニケーションを楽しめていることが成果とかと思っています。（少しだけですが…。）

23) カプラ研修では、保育にすぐ取り入れることができ、自分で考えていろんなアイデアや知識も浮かぶようになった。

(6) 園児教育の指導でもっとも力を入れたことは何ですか。3点挙げてください。（回答 22/21 複数回答可。）

1) 三立（立腰立額立身）

元気な声で1音1音正しく発音する

挨拶励行

2) 挨拶について

話や考えを聞き、認めること

本気で一緒に遊ぶこと

3) 動植物や自然にかかわる環境づくり

あいさつ

5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）

4) 挨拶

物の扱い方の大切さ

よい言葉使い、行動があったら認め、褒める。

5) 園生活での身の回りのことに自信を持って、自分で行えるようにする。

幼稚園に安心して通園できるように信頼関係を築く。

園児のため、成長・力につながる活動を意識して取り入れた

6) いつも明るくて楽しい雰囲気を作る。教師も表情豊かに、笑顔でいっしょに楽しむ。

園児のいろいろな気持ちを受け止め、1人ひとりの発達に合った言葉がけや援助。

良いところ、がんばったことを認めて、やる気を引き出す。

7) 安全面への配慮（アレルギーを含む）。

園児自ら「やりたい」と思える活動を考える。

園児が「楽しい」と思えるような言葉掛けや、振る舞い。

8) 「できた」喜びを共有すること。

一人ひとりの個性を大切に良さを引き出すこと。

自分自身が楽しんで取り組む姿を見せること。

9) 挨拶をする

基本的生活習慣を身に付け、園児が自分で行えるようにする

教師や友だちの話を聞き、人との関わりを楽しむ

10) 元気よくあいさつすること

お友達の気持ちを考えて話したり、遊んだりすること

自分でできることは自分で頑張る

11) 個性を大切にする

自分の気持ちを伝えあう機会を作る

2018 年度自己評価まとめ（回収）

行事や活動は遊びの延長であるということ（やらせない、叱らない）

12) 園児とコミュニケーションをとること

基本的生活習慣を徹底すること

進んで身体を動かすための工夫

13) 一定のラインを設け、守る。ブレない。

園児に約束を守ろうと促しているので、自分も絶対に守る。

褒める時は思いっきり褒める。叱る時は真剣に叱る。

14) 大切なこと、知ってほしいことを伝えるときには、「なぜなのか。」理由も具体的に話したり、例を挙げながら、クラスの園児全員が理解できるまで繰り返し伝えることを心掛けた。

給食や製作などで苦手なことがあっても、友だちの姿を通して「やってみたい。」「最後まで頑張ってみる。」と思えるように関わった。

自信をもっていろいろなことに挑戦できるように園児たちのやってみたい活動を取り入れて保育を行った。

15) 自分の思いを言葉で伝える。

相手の気持ちを考える。

けじめのある生活をする。

16) 教師が前に立ったら、話をやめ、教師の話聞くこと。

友だちのことを仲間外れにしないこと。

友だちの失敗やミスを笑わないこと。

17) ア、健康な心と体

イ、自立心

ウ、道徳性・規範意識の芽生え

幼稚園教育要領 第1章 総則 第2「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」参照

18) 自分で考え、思いを自分で伝えられるようになる。

自分のやりたいことを見つけ、実現することができる。

物事を最後までやり遂げられるような気持ちの調整を行う。

19) 自主性と協調性の育み

創造性を育む環境づくり

一人ひとりの表現力

20) あいさつ

自分で考え、自発的な行動をするようになる事

他学年間において、思いやる気持ち

21) 健康な心と体

自立心

言葉による伝え合い

(7) 保護者との対応でもっとも配慮したことは何ですか。3点挙げてください。(回答 22/22 複数回答可。)

1) あいさつ

教師からの声かけ

アンケートなどで保護者の意見を聞くようにした

2018 年度自己評価まとめ（回収）

- 2) 挨拶、表情、言葉
相手の話を丁寧に聞く
相手の気持ちに寄り添う
- 3) 園児の園での過ごし方や様子を伝える
園児の情報共有（体調の変化、けがなど）
礼儀、言葉遣い
- 4) 保護者の思いを聞く
言葉使い
アレルギー対応
- 5) コミュニケーション
言い回しの配慮
明るい挨拶
- 6) 公平に接する。馴れ合わない。
保護者の話を良く聞く。
速やかに対応する。
- 7) 相手の話をよく聞き、気持ちを共感するように心がけた。
園児ができるようになったことなど、小さな成長でも手紙や電話、または保護者会で伝え、成長を感じてもらえるように配慮した。
何でも相談したり、話しかけたりしやすいように、自分から保護者に積極的に関わっていくようにした。
- 8) 笑顔で対応する。
積極的にコミュニケーションをとる。
報告、連絡、相談、伝達、説明、確認。
- 9) 笑顔で保護者の話を聞く。話の内容によっては、真剣な顔で聞く。
笑顔で出迎え、笑顔で見送り、保護者が話しかけやすいような環境をつくる。
自分の思いや考えを伝えるのではなく、ありのままの園児の様子を伝える。
- 10) 言葉遣い。
園児の様子を、お迎えの時に些細な事でも伝える。
笑顔。
- 12) 挨拶や丁寧な言葉使いを心がけ、笑顔で対応する。
園児の様子を伝えたり、いろいろな会話することでコミュニケーションをはかる。
保護者の気持ちに寄り添い、共感したりして信頼関係を築く。
- 13) 園児の情報収集、共有。
にこやかな出迎え、見送り。
保護者の立場に寄り添って話を聞く、話をする。
- 14) 良いところ、頑張ったことなどを伝えるようにした。
小さな怪我でも必ず伝えるようにした。
明るく笑顔で接しコミュニケーションを大切にした。
- 15) 園での出来事や園児の様子を伝え、コミュニケーションをとる
信頼関係を築く

2018 年度自己評価まとめ（回収）

何かあった際は、速やかに連絡し対応する

16) 笑顔であいさつ（朝は+αで一言）

降園の時、1日の様子など伝える。（楽しかったことや、頑張ったことなど良いところを伝える。）

いつもと違う様子の時は電話等で連携を図る。

17) 教師より声をかけていく

園児のマイナス面よりもプラス面を多く伝えていく

保護者の子育て論を優先、大切にする

18) 保護者よりも先に挨拶をすること

言葉使い

保護者よりも早く気づき、早く対応すること

19) 言情報の正確性、スピード

配慮（言葉遣いや態度）

共感力

20) コミュニケーション

利用者のニーズを理解し、適切に対応する

「おひさまの会」との良好な関係

21) どなたにでもじぶんから挨拶をする

話をきくさいは、まず気持ちを受け止める

相談を受けた場合は、そのあと必ず声をかける

22) 相手の思いに寄り添うこと

連絡事項をわかりやすく敏速に発信（れんらくアプリやHP等）

保護者の負担軽減のための行事調整等

23) 園児、保護者の体調への気遣い。

園内見学の親子へのかかわり。（緊張が溶きほぐれるように接したこと）

不安を与えない対応

(8) 同僚との間でもっとも配慮したことは何ですか。3点挙げてください。（回答 22/22 複数回答可。）

1) 共感力

仕事の正確性、スピード

的確に仕事を進めるための個別の話しかけ

2) 情報公開の姿勢

教職員のストレス緩和や改善

スキルアップの援助

3) 話をきく

自分から声をかけ、話かける

互いに認め合う

4) 話しやすい雰囲気を心掛け、丁寧に相談にのること。

ハラスメントにならないよう同僚に接したり、そのような現場を見たり聞いたりしたときには同調せず、上司に相談、報告すること。

2018 年度自己評価まとめ（回収）

感謝の気持ちを伝えるようにすること。

- 5) 積極的なかわり。（仕事に支障が出ない程度の雑談）

金銭の支払いの確認。（特に短期預かり保育利用児からの代金）

行事担当者責任者への納品に関する連絡。

- 6) 情報の共有。

気遣い、配慮。

コミュニケーション。

- 7) 仕事を効率よく終わらすために、まとめてできることは同僚の分も一緒に行った。

決め事がある時など、相手に任せるのではなく、自分の意見や考えもしっかりもち、それを相手に伝えるようにした。

悩んでいるときには、みんなで相談にのり、何でも話しあえる安心できる居場所づくりをした。

- 8) お互いに気持ち良く仕事ができるよう、感謝の気持ちや労いの気持ちを言葉にする。

仕事以外の会話も楽しみ、コミュニケーションをはかる。

笑顔で接する。

- 9) 挨拶をする。

お礼を言う。

体調不良時は、報告しておく。

- 10) 報告

連絡

相談

- 11) 報告・連絡・相談を大切にする

周りの先生方の負担にならないよう、出来ることは積極的に行う

担任同士情報を共有する

- 12) 保育や行いでよいと思ったことはそれをその先生に伝える

「ありがとうございます」「お願いします」「やります」など言葉にする

悩みを聞いたときに、一緒になってマイナス方面にならないようにプラスになるような言葉かけを心掛けた

- 13) 人任せにしないこと

一人で悩ませないこと

一日一回必ず全員の職員と会話をする

- 14) ホウレンソウ

相手の立場になって考える。行動する。

情報の共有を図る。

- 15) 報告、連絡、相談、伝達、説明、確認を意識するようにした。

学年間で指導など異ならないように、コミュニケーションを積極的にとるようにした。

自分の仕事は責任をもって行うこと。

- 16) コミュニケーションを密にとり、教育についての行き違いがないようにしたこと。

「報告、連絡、相談、伝達、説明、確認」ができるように意識したこと。

自分の仕事は自分で行うようにし、同僚に迷惑がかからないようにしたこと。

2018 年度自己評価まとめ（回収）

- 17) コミュニケーション（報告、連絡、相談、伝達、説明、確認）
情報の共有（学級について、学年について、他学年との交流）
礼儀、言葉遣い
- 18) 意志の疎通
気になる園児の様子との共有
話しやすい雰囲気作り
- 19) 些細なことも話す
楽しく仕事をする
- 20) 相手にわかりやすいように伝えること
仕事が円滑に進むよう配慮
話しやすい雰囲気作り
- 21) 相手の話を丁寧に聞く
相手の立場を尊重する
年下の同僚に柔らかにかかわる
- 22) コミュニケーションをとること
報告・連絡・相談・伝達・説明・確認を意識した
学年主任の方が負担にならないよう、できる仕事は率先して引き受けた

以上